

久 留 米 大 学

御 井 図 書 館 ニュース No.93 2016年12月1日発行

図書館をめぐって

比較文化研究所長 浦田 義和

専門は、日本近代文学なので、当然、"本"や図書館には随分と親しい。もちろん、研究者を志す前と後では、その親しみ方は、ずいぶん質が異なっている。

子供時代の記憶にあるのは、探検記や冒険ものだ。ワクワクドキドキしながら読んだ。昆虫記や児童向け空想物語もその挿絵と共に楽しく耽読した。全共闘世代としての青年期を通過し、やがて研究者の道を歩むことになるが、研究者になってからの図書館で一番身近なのは、複写(コピー)機である。図書館でやることといったら、読書ではない。貴重資料の複写屋と化すのである。何しろ大量のコピーである。コピー機の紙がなくなるのは日常茶飯事といっていいほど。たまに途中でインクがなくなる。自慢ではないが、コピーのスピードに掛けては、大方の人には負けないという変な滑稽な自負を持っている。学生時代、たいてい喫茶店に置いてあった今は懐かしいインベーダーゲーム機で指の訓練をしたからかもなどと、ちょっと得意になっているようだが、実際は、おっかなびっくり、周りを気にして作業する方が多かった。

これまで、多くの図書館に通った。日本近代文学関係の資料は、もちろんその多くが東京を中心とした関東圏の図書館にあったから、当時九州からでもずいぶん通った。早稲田大学は書庫にかなりのコピー機が置いてあって便利だった。蔵書数は多いが不便なのは、国会図書館である。ここは書庫に入れないし、本を請求するのでも、複写を頼むのも並ばなければならない。大学図書館はおおむねカード式になり、そのうち 1 枚 10 円から 7 円とか 5 円ぐらいになったので、貧乏研究者には随分と助かった。複写料金について言うと、国会は 20 円、ちょっと高い。もっと高いのは日本近代文学館の 1 枚 100 円だが、そこにしかない資料なので仕方がない。貴重資料を複写してくれるだけでもいいのかもしれない。外務省の外交資料室では、複写禁止で筆写した。いや、それもまだいい方かもしれない。中華人民共和国の長春では、結局複写をあきらめたことがあった。台湾・台南の国家文学館にもずいぶん通って、自由に複写させてもらった。ハワイ大学日本研究所の資料は、カメラ撮影は無料であったと記憶している。ソウルの中央図書館では、韓国人の ID がなければ複写できなかったので、留学生に借りたが、その代わり貴重資料はデジタル化が進んでいて、あの一置く、ぱたんと閉じる、スイッチを押す、開ける、取り出すーという熟練した流れ手作業からは解放された。最近は、日本国内でも、例えば国会のデジタル・アーカイブや京都日本文化研究所図書館の PDF 複写など、ずいぶんと便利になったものである。

「図書館」という場所

法学部法律学科 4 年 工藤 一平

図書館について、皆さんはどのような印象を持たれているでしょうか。読書の習慣がない人からすると、お堅くて、取っ付きづらい印象があるのではないでしょうか。

入学した当初の私が初めて図書館を訪れた時は、ああ、こんな素晴らしい図書館がある大学に入学できて良かった、と感極まったものです。まず、図書館の開放感と清潔感が良い。2 階建ての建物で 1 階から 2 階へ吹き抜けになっているためか、窓から陽光が差し込み、いるだけでフレッシュな気分になれる。高校時代に、私は近くの大学図書館を利用していましたが、そこはアスファルトがむき出しで、単に本を貯蔵するためだけに建てられた建物という感じであり、お目当ての本を検索し、黙々と読む場所という雰囲気で、やはり、閉鎖的で気分が曇りました。

御井図書館も本を貯蔵するための建物ではありますが、単にお目当ての本を探すだけではもったいない。私は、面白い本を探しに冒険に来ているような気分になります。図書館に入ってすぐのフロアには、学生が「選書ツアー」に参加して納本した本や、学生や教授のおすすめの本を紹介する知の玉手箱のコーナーがあります。私は、そのコーナーに立つと、胸が高まる気がします。そこには、私が、これまで出会うことがなかった書物が並んでいるからです。このような本を、同じ年頃の学生が読んでいるのかと思って、1 冊ずつ手に取ると、とてもその本に興味がわき、刺激を受けます。なぜ、彼・彼女はこのような本を読みたいと思ったのか、どこに惹かれたのか、そう考えて手に取るのも、私の図書館の楽しみ方の一つです。

また、雑誌のラインナップも豊富です。さすがにホビーなど趣味に傾倒したような雑誌はあまりありませんが、書店でも見ることのできるような雑誌から、アカデミックなもの、海外雑誌まで、幅広く取り揃えられています。古くなったものは処分されるのではなく、数冊分を1冊に製本して、地下書庫に収納されるので、気に入れば、思う存分にその本を読み尽くすことができるのです。

地下書庫には、膨大な専門書が並んでいます。地上階で興味を持った分野の専門書を探しに行くのは、大学生の特権のような気がします。最近はコンベアーで自動的に本を取りだしてくるシステムを取り入れた大学もあると聞きますが、ずらっと並ぶ専門書の森の中に入っていき、自分の足で彷徨い歩くのは、とても知的で得難い経験です。隣に並ぶ本を手にとって思わぬ発見をすることもあります。

これらの図書館の魅力に気づきはじめてからは、それ以前よりも図書館を有効的に活用できているように思います。 この小文が皆さんにとっても、図書館の楽しみ方の拡大に繋がればと思います。



2017年 購入中止雑誌一覧

■ 購入中止

誌名	出版者
Monatsschrift für deutsches Recht	O. Meissner
Reader's digest Asia ed	Reader's Digest Asia Ltd.
求是	求是杂志社
經營學論集	同文館
産業連関 : イノベーション&I-O テクニーク	環太平洋産 業 連関分析学会
児童青年精神医学とその近接領域 : 日本児童青年精神医学会機関誌	児童青年精神医学とその近接領域編集部
女性情報 : 切り抜き情報誌	パド・ウィメンズ・オフィス
精神障害とリハビリテーション	日本精神障害者リハビリテーション学会
精神保健福祉 : 日本精神保健福祉士協会誌	日本精神保健福祉士協会
ジェトロ世界貿易投資報告	ジェトロ
東南アジア研究	京都大学東南アジア研究センター
南アジア研究: JJASAS	日本南アジア学会
瞭望	新华出版社
老年精神医学雑誌	ワールドプランニング

■ 休·廃刊等

誌名	出版者		
Bibliothèque de l'École des chartes	Impr. de Decourchant		
知的財産法研究	萼工業所有権研究所出版部		
会計と監査	全国会計職員協会		
文學	岩波書店		

■ 冊子から Online Only へ変更

誌名	出版者		
IEEE transactions on computers	IEEE		
IEEE transactions on software engineering	IEEE		
Stochastic analysis and applications	Marcel Dekker		

中学生・高校生による『職場体験』が行われました!

今年度の職場体験では、江南中学校(9/8~9/9),城南中学校(9/14~15), 屏水中学校(9/15~9/16),良山中学校(10/20~21)5校より2名ずつ、 また、三井高校(11/7~11/8)より1名の計9名の生徒を受け入れました。 カウンター業務や図書の整理・排架などに取り組み、終了後に感想を寄せていただきました。

大変だったこと

- * 新しい本の情報をパソコンで入力する「登録」の作業が難しかったです。
- * 本を排架する時に数字やアルファベットを見ながら本を並べていったところです。
- * 質問の答えを辞書などで調べて紙に記録する「レファレンスサービス」がとても大変でした。

楽しかったこと

- * 楽しかったことは、本にラベルやシールを貼っていったことです。最初は難しかったけど、慣れて くると達成感とかがわいてきてとても楽しかったです。
- * いろいろな国の新聞の情報を登録してホチキスとパンチでとめる作業がとても楽しかったです。

全体の感想・意見

- * 今まで図書館の仕事はもっと簡単なものだと思っていました。しかし、実際にやってみるとすべて大変でした。
- * 本の背の部分に貼ってあるシールやバーコードの意味を全然知らずにいつも借りたり探したり していました。だけど、これからは今までよりもっと本を読んだり探したりするのが楽しくなると思 いました。
- * 私は将来、図書館の司書になりたいという夢を持っているので、この 2 日間で学んだことを将来のためにも生かしていきたいです。

寄贈図書(学内関係者)

受入期間: 2016年9月1日~2016年11月30日

寄贈者名	書名	著者名	出版者		
浦田 義和	三康図書館蔵書目録 地理·地誌編, 哲学·宗教編, 国書編, 文学書編	三康文化研究所付属三康図書館編	三康文化研究所		
浦田 義和	尾崎一雄文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川文学振興会		
浦田 義和	獅子文六文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川文学振興会		
浦田 義和	大野林火文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川文学振興会		
浦田 義和	福本和夫文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川文学振興会		
浦田 義和	藤森成吉文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川文学振興会		
浦田 義和	高木健夫文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川文学振興会		
浦田 義和	添田唖蝉坊·知道文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川文学振興会		
浦田 義和	中里恒子文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川近代文学館		
浦田 義和	中村光夫文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川近代文学館		
浦田 義和	近藤東文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川近代文学館		
浦田 義和	中川孝収集実篤文庫目録	神奈川文学振興会編	神奈川近代文学館		
浦田 義和	圣人与日中文化 上・中・下	藤原(王)文亮著	社会科学文献出版 社		
浦田 義和	安曇野の内と外 : 歴史・風土・文化	『安曇野の内と外』編集委員会編	『安曇野の内と外』刊 行 委員 会		
浦田 義和	沖縄文化研究 25, 31~32, 34~36, 40, 43	法政大学沖縄文化研究所編	法政大学沖縄文化 研究所		
浦田 義和	ヴァイマル共和国の光芒	田村栄子,星乃治彦編	昭和堂		
浦田 義和	原初的条件	藤田省三著	未来社		
浦田 義和	社会主義の誕生 : 社会民主党 100 年	「社会民主党百年」資料刊行会編	論創社		
浦田 義和	帝国を撃て: 平民社 100 年国際シンポ ジウム	梅森直之編著	論創社		
浦田 義和	若き教養市民層とナチズム	田村栄子著	名古屋大学出版会		
浦田 義和	女学者丁々発止!	島崎今日子編著	学陽書房		

寄贈者名	書名	著者名	出版者
浦田 義和	フェミニズム批評 : 理論化をめざして	織田元子著	勁草書房
浦田 義和	『青鞜』を読む:Blue stocking	日本文学協会新・フェミニズム批評の 会編	學藝書林
浦田 義和	長崎・そのときの被爆少女	横手一彦編著	時事通信出版局
浦田 義和	異人論序説	赤坂憲雄著	砂子 屋書 房
浦田 義和	物語宮城県農民運動史 上・中・下	斎藤芳郎著	ひかり書房
浦田 義和	柳瀬正夢	柳瀬正夢 [画]/柳瀬正夢研究会編	柳瀬正夢研究会
浦田 義和	護るために殺す?	安田章人著	勁草書房
浦田 義和	異様の領域 (川村湊評論集:1)	川村湊著	国文社
浦田 義和	物語文学成立史	藤井貞和著	東京大学出版会
浦田 義和	日本近現代文学の展開 : 志向と倫理	槙林滉二著	和泉書院
浦田 義和	椎名麟三と遠藤周作	佐古純一郎著	日本基督教団出版 局
浦田 義和	追悼花田俊典		創言社
浦田 義和	特集葦平の青春文学		創言社
浦田 義和	特集葦平と短歌		創言社
浦田 義和	太宰治文学批判集	青森文学会, 弘前文学会編	審美社
浦田 義和	太宰文学の女性像	青木京子著	思文閣出版
浦田 義和	太宰治 : 主治医の記録 (宝文館叢書)	中野嘉一著	宝文館出版
浦田 義和	太宰治論 : 作品からのアプローチ	鳥居邦朗著	雁書館
浦田 義和	太宰治の生涯	荒川法勝著	泰流社
浦田 義和	太宰治を読む	佐藤泰正編	笠間書院
浦田 義和	太宰治情死考 : 富栄のためのれくいえむ	片山英一郎著	たいまつ社
浦田 義和	太宰治の世界 (異装叢書:3)	関并光男編	冬樹社
浦田 義和	太宰治論 : 充溢と欠如	鶴谷憲三著	有精堂出版
浦田 義和	太宰治論	清水昶著	思潮社
浦田 義和	太宰治と私 : 激浪の青春	石上玄一郎著	集英社
浦田 義和	太宰治の研究	森安理文編著	新生社

寄贈者名	書名	著者名	出版者	
浦田 義和	戦時下の太宰治	赤木孝之著	武蔵野書房	
浦田 義和	遠藤・辻の作品世界	三木サニア著	双文社出版	
浦田 義和	林芙美子の文体研究	今村潤子 著	熊本大学教育学部 国文学会	
浦田 義和	ハーンのまなざし : 文体・受容・共鳴	坂元昌樹, 西槇偉, 福澤清編	熊本出版文化会館	
浦田 義和	石川達三研究	青木信雄著	双文社出版	
浦田 義和	新·石川達三論	久保田正文著	永田書房	
浦田 義和	北村透谷論 : 天空への渇望	黒古一夫著	冬樹社	
浦田 義和	夏目漱石試論 : 近代文学ノート	井上百合子著	河出書房新社	
浦田 義和	椎名麟三の研究 上・下	佐々木啓一著	桜楓社	
浦田 義和	音は幻 (川村湊評論集:3)	川村湊著	国文社	
浦田 義和	山頭火·虚子·文人俳句	斉藤英雄著	おうふう	
浦田 義和	加藤楸邨全句集	加藤楸邨著	寒雷俳句会	
浦田 義和	帰郷の瞬間 : 金井直『昆虫詩集』まで	坂本正博著	国文社	
浦田 義和	福田万里子全詩集	福田万里子著	コールサック社	
浦田 義和	テロリストのパラソル	藤原伊織著	講談社	
浦田 義和	乾山晩愁	葉室麟著	新人物往来社	
浦田 義和	美枝の出産	浜崎勢津子 著	マルニ	
浦田 義和	人が見たら蛙に化れ	村田喜代子著	朝日新聞社	
浦田 義和	中島敦『弟子』の創造	村田秀明著	明治書院	
浦田 義和	唯一度きりの手紙	西村聡淳著	幻冬舎ルネッサンス	
浦田 義和	火の山 : 山猿記 上	津島佑子著	講談社	
浦田 義和	物語・差別・天皇制	赤坂憲雄〔ほか〕共編	五月社	
浦田 義和	彩雲	阿万鯱人著	鉱脈社	
浦田 義和	日本の「私」を索めて	佐伯彰一著	河出書房新社	
浦田 義和	安吾と三千代と四十の豚児と	坂口綱男著	集英社	
浦田 義和	廣津和郎著作選集	橋本迪夫, 坂本育雄, 寺田清市編	翰林書房	

※寄贈者名:敬称略。本学教員著書は、図書館1階 寄贈図書コーナーに排架。

図書館利用状況(2016年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合 計
開館日数		28	27	30	31	29	29	31	28	233
	対前年同月比	-354	485	-272	-3,179	1,553	2,175	-1,103	-1,531	-2,226
	合計	15,933	15,134	16,980	21,783	9,246	8,571	15,508	15,255	118,410
	対前年同月比	-513	340	-339	-3,025	1,622	2,400	-831	-1,322	-1,668
入館者数	学内者	14,818	13,597	15,469	20,292	8,247	7,661	13,960	13,964	108,008
	対前年同月比	159	145	67	-154	-69	-225	-272	-209	-558
	その他学外者	1,115	1,537	1,511	1,491	999	910	1,548	1,291	10,402
地域住民	対前年同月比	20	-12	-18	-10	-5	-7	1	-12	-43
登録·更新数	地域住民	107	64	48	36	37	24	32	21	369
	対前年同月比	607	11	-351	-444	89	464	-225	421	572
	合計	3,571	3,033	3,126	3,126	1,706	1,935	3,567	3,892	23,956
貸出冊数	対前年同月比	201	-59	-195	-196	62	215	-11	177	194
(全体)	内、夜間	566	714	797	787	306	362	833	990	5,355
(,	対前年同月比	343	-59	-89	-5	-68	-13	155	-12	252
	内、土·日曜	564	318	263	342	206	227	495	334	2,749
	対前年同月比	-60	71	-201	-406	95	439	-327	362	-27
	合計	2,285	2,523	2,614	2,613	1,245	1,410	2,849	3,302	18,841
44-11	対前年同月比	-25	21	-62	-196	38	181	-49	135	43
貸出冊数	内、夜間	460	598	663	634	235	298	664	837	4,389
(学生)	対前年同月比	-46	2	-29	20	-43	-2	59	-50	-89
	内、土・日曜	87	219	163	258	130	120	285	196	1,458
	一人当たりの貸出数	0.41	0.46	0.47	0.47	0.22	0.25	0.51	0.60	3
	対前年同月比	638	23	-58	-34	-29	16	21	8	585
	合計	1,044	317	308	333	267	303	363	314	3,249
貸出冊数	対前年同月比	-16	3	-41	4	1	25	-43	-9	-76
(教職員)	内、夜間	43	62	64	88	31	39	58	63	448
(Sitting 4)	対前年同月比	370	-25	-12	0	2	15	16	5	371
	内、土·日曜	387	26	35	38	37	47	45	24	639
	対前年同月比	29	-83	-92	-4	23	9	81	51	14
	合計	242	193	204	180	194	222	355	276	1,866
貸出冊数	対前年同月比	-8	-14	4	5	16	-5	44	-11	31
(その他学外者)	内、夜間	63	54	70	65	40	25	111	90	518
	対前年同月比	19	-36	-48	-25	-27	-26	80	33	-30
	内、土·日曜	90	73	65	46	39	60	165	114	652
	対前年同月比	3	2	-1	-25	1	-17	-20	-13	-70
	合計	34	19	24	26	15	26	18	26	188
	対前年同月比	-6	1	-3	-11	0	-20	-3	0	-42
AVライブラリー	学生	1	4	1	2	6	0	0	1	15
利用件数	対前年同月比	9	0	3	-14	-2	5	-22	-10	-31
	教職員	33	14	23	24	6	21	12	20	153
	対前年同月比	0	1	-1	0	3	-2	5	-3	3
	その他学外者	0	1	0	0	3	5	6	5	20
	対前年同月比	-71	-50	-17	-106	-58	-14	22	4	-290
	合計	61	30	41	31	28	41	89	75	396
相互利用	対前年同月比	-53	-45	-20	-102	-46	15	-16	-45	-312
(文献複写)	学生	43	19	23	16	22	36	39	16	214
申込件数	対前年同月比	-17	-5	3	-4	-12	-29	38	49	23
PP-X2TT9X	教職員	18	11	18	15	6	5	50	59	182
	対前年同月比	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1
	その他学外者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対前年同月比	-12	28	17	-10	-7	-5	-1	-18	-8
	合計	8	39	28	13	9	22	22	11	152
相互利用 (現物貸借)	対前年同月比	-1	0	3	1	0	8	1	-5	7
	学生	1	5	3	4	0	8	5	4	30
申込件数	対前年同月比	-11	28	15	-11	-6	-13	-2	-13	-13
The state of the s	教職員	7	34	25	9	9	14	17	7	122
	対前年同月比	0	0	-1	0	-1	0	0	0	-2
	その他学外者	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<貸出冊数についての注記>

- 1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
- 2. 「夜間」とは17:00-21:00の夜間開館時間および閉館中の時間を指す *なお、4月1日-4月8日、8月12日-9月20日、12月23日、12月28日、1月9日、2月1日-3月31日の 期間は夜間開館を行っていない。
- 3. 学生一人当たりの貸出数は、平成28年5月1日現在の御井キャンパスの学生数 5,543人で算出。 (留学生別科、聴講生は除く)

編集·発行 久留米大学御井図書館

〒839-8502 福岡県久留米市御井町1635 TEL: 0942-44-4015 FAX:0942-43-0348 http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/